

教師、親、生徒・学生、誰でも気軽に参加でき、明日の教育や子育てに役立つ研究集会

2012年

日本生活教育連盟第64回夏季全国研究集会

主催：日本生活教育連盟 第64回日生連夏季全国研究集会石川集会実行委員会

後援：石川県教育委員会 石川県漁業協同組合 石川県森林組合連合会 片山津温泉観光協会
北陸中日新聞 石川テレビ

研究主題

仲間とともに学び、希望を紡ぐ

～自分を見つけ、地域に生きる～

日時 2012年8月3日(金)～8月5日(日)
研究会場 片山津温泉加賀観光ホテル

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉ウ41 TEL(0761)74-1101

8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

2日 (木)						拡大常任 委員会	夕食	分科会 世話人会		
3日 (金)		受付	生活教育 講座	昼食	分科会①	移動	文化活動 実技講座	夕食	会員 総会	交流
4日 (土)		受付	分科会②	昼食	全体会・講演	移動	分科会③	移動 レセプション	交流	
5日 (日)		受付	分科会④	閉会 全体会						

ごあいさつ

新たな出会い、豊かなつながり、充実の学びを求めて、ぜひ石川の地に！

実行委員長 北陸学院大学教授 金森俊朗

3.11、東日本大震災・原発災害は、今日支配的な教育、学校のあり方を根本から問い直すことを迫っています。

地域は、生命を産み出し育む場であり、共同の暮らしを持続する場であり、新たなヒトと文化、産業との出会い、創造の場です。この巨大複合災害時にそうした地域に誠実に生きてきたからこそ、教師、子どもたち、地域住民が協働し命をかけて、自分たちと仲間・地域住民を守り励まし、学校と地域の復興にも奮闘しているのだと思っています。私たちは改めて地域に根ざして生きること、教育することの大切さを痛感しました。

幸い私たち日生連は、「生活が陶冶する」「教育を深く子どもの生活・地域に根づかせること」という生活教育の原点を踏まえて、希望を紡ぐ教育を求め、厳しい歴史の中で豊かな実践を追求してきました。その成果は、被災地を含むこれからの日本の教育を再構築する思想と具体的な指針を与えてくれると確信をしています。42年間教職に就いている私にとって、この日本生活教育連盟は最大の「教師の学校」だから、自信を持って断言できるのです。ぜひ、集って、成果を明らかにし、希望の実践を報告、語り合いませんか。

今回、石川集会の開催にあたって、日生連石川サークルの仲間は総力をあげ、開催の準備にあたっています。加賀温泉郷の中でも最高級なホテルを格安で泊まることのできる会場を確保し、研究と癒し・寝食さらに参加者同士の交流を一体化できるように、また、家族で宿泊し、家族は金沢等の観光も楽しむことができるように配慮しました。また、実践交流を深めるためにも、サークル仲間全員がレポート報告をすることも自らに課しています。

超多忙なときだからこそ、新たな出会い、豊かなつながり、充実の学びを求めて、ぜひ仲間を誘って石川の地において下さい。お待ちしております。

豊かな子育てと教育の実践を紹介し交流する月刊誌『生活教育』をおすすめします

(毎月20日発行 1年定期購読 郵送料込9600円)

日本生活教育連盟 世田谷区桜2-18-18 和光小内 (03)3420-4353 <http://nisseiren.jp>

生活教育講座

8月3日(金) 10:00~12:00

①生活教育とは何か～復興に立ち上がる人々とつながる生活教育～

行田 稔彦(和光学園/日生連委員長)

②子どもと深める命の授業

金森 俊朗(北陸学院大学/日生連拡大常任委員)

③学ぶ意欲を育てる算数の模擬授業

渡辺恵津子(大東文化大学/日生連研究部員)

④困難を抱えた子をどう理解するか

竹沢 清(日本福祉大学)

⑤石川の学童と教育

早川 雅代(たちのクラブ/学童保育指導員)

⑥実践記録をどう書くか

佐久間亜紀(大東文化大学)

文化活動実技講座

8月3日(金) 16:00~17:45

①雪の科学館と屋形船

吉野裕之(日生連石川サークル) ※要 乗船料500円

②紙芝居と小話

野間成之(ひょうしぎの会代表/日生連石川サークル委員長)

③科学実験と科学遊び

野村泰裕(石川小松楽しい授業研究会)

④授業・学級づくりと歌

村元康一・川崎正美(フィールドフォーク「でえげっさあ」)

⑤手作り工作遊び

照田律子(新しい絵の会金沢サークル)

⑥体を使った遊び

松村一成・伊藤邦夫(日生連石川サークル) ※芝生広場

研究集会全体会

8月4日(土) 13:00~15:45

●13:00 オープニング フォークソング演奏 川崎親子

●13:15 現地実行委員長あいさつ 金森俊朗(北陸学院大学)

●13:20 現地基調実践報告「わたしたちは、未来をともにつくる仲間になった
～地域の人々や自然から学んで～」
谷保 裕子(日生連石川サークル)

●13:50 記念講演

「森は 海の恋人」畠山 重篤(はたけやま しげあつ)さん

(宮城県気仙沼牡蠣漁師「牡蠣の森を慕う会」代表 2012国連「フォレスト・ヒーローズ」受賞)

閉会全体会

8月5日(日) 11:30~12:30

●講演「生活教育と学力 ～地域から希望を紡ぐ教育～」

行田 稔彦(和光学園/日生連委員長)

分科会

8月3日(金)～8月5日(日)

分科会		分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人 (太字は代表)
1	ことばと教育	子どもが求める読み・書きの力 ①豊かな「ことばの体験」をつくる入門期・低学年の学習 ②子どもの学びを拓く「読み」「書き」の学習 ③表現から読みとる現代の子どもたちの世界 ④現代の子どもの生活や意識と切り結ぶ作品の紹介とその検討	本谷 宇一 野間 成之 金田一清子 近藤 秀子 桑原 英代 山下登志子 山岡 貴英 岡村 保子
2	算数数学	子どもと拓く算数・数学 ①学びを作り出す基礎基本の力とは何か ②子どもとともに算数・数学の学びを創る ③学びあいの中での認識の変化 ④生活と算数の結びつきと教育課程 ⑤学びを作り出す指導法と教具 ⑥確かな学びと少人数指導のあり方	関 忠和 行田 稔彦 増島 高敬 渡辺恵津子 本郷佳代子 入沢 雅代 儀間 奏子 石川 義人 池田 元

分科会		分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人 (太字は代表)
3	社会科	子どもと共に社会を学び、希望を育む ①その実践で子どもが知りたいこと・学びたいこと ②討論・交流の場の設定と共通課題・個人課題の誕生 ③実践で生まれた学びと生きる喜び・希望 ④子どもの主体的な学びを支える教師の指導性	金森 俊朗 外山 英昭 松村 一成 加藤 博之 杉見 朝香 宮丸 賢一 中曽根 力
4	自然と科学 技術・産業	新しい社会・地域・生活をつくる「自然と科学・技術・産業」の教育 ①日常生活の中で萌生する《自然と科学・技術・産業》への関心の活用 ②理科・数学・技術科など取り立てた教科での《自然と科学・技術・産業》(国語科・社会科なども含む) ③新しく生まれつつある社会＝共生経済との関連(地域づくり) ④大学の教育や最先端の研究とのつながり(科学の系統性) ⑤科学的概念とあそび・生活の中でつけた力(発達構造との関連)	加藤 聡一 田辺 基子 松本 達郎 伊東 裕子 中妻 雅彦
5	生活科と 総合学習	学び合う「価値」と「意義」を問い質し、「生きる力」を育む生活科と総合学習を拓こう ①仲間や文化・科学とつながり、「生活を読み解く」学び合いを育む生活科・総合学習ー地域の「ひと・もの・こと」との出会いから「価値ある学び」を創るー ②「いまを生きる」子どもたちのつながり合う“智”を拓く生活科と総合学習ー「いのち」「平和」「人権」「環境」「共生」を育む実感ある学びの探究ー ③豊かで確かな人格形成を切り拓く生活科と総合学習の教育課程づくりー「地域」「生活」に根ざした“学び合い”の創造と「生活主体」を育む“生きる力”の探究ー	小川 修一 曾根 啓維 藤原 共子 金馬 国晴 野上 ゆみ子 和田 仁 村越 含博 堀江 理砂
6	異文化・ 国際理解 教育	多文化の学び合いと国際交流を通じて共生文化の主体に育つ ①アイヌ文化、琉球文化、世界の○○文化と出合う教育実践から教育課程づくりへ ②アジアとの交流を通じて共生文化の主体はいかに育つのか ③「外国語活動」としての英語教育の実態と課題を確認する ④アメリカン、日系ブラジル人、在日外国人、帰国子女等の子どもの生活現実から学び合いを立ち上げる ⑤セクシャリティの多様性を認め、ジェンダーフェアな学びの世界へ	田村 真広 高田 哲郎 大滝 修 北川 茂
7	音楽の教育	生活に根ざしつながり合える楽しい音楽教育を目指して ①音楽教育をめぐる問題点と現状 ②楽しく気持ちよく歌える歌唱・合唱教材 ③あそびながら心を育てるうたあそび教材	繁下 敏子 宮武 孝太 三野 紀子
8	小学校の 生活指導	親と子と教師が「安心・自信・自由」でつながれる学級・学校 ①「不登校・登校拒否・いじめ・暴力」等に見られる子どもたちの疎外状況を克服する指導 ②「荒れる子」「キレる子」の内面と背景を大切に生きた生きる意欲を育てる集団づくり・文化活動 ③父母・地域の人々との共同による学級・学校づくり ④子どもと教師が本音を出し合い、遊び心でつながれる学級・学校づくり	伊藤 邦夫 宮城 アケミ 阿部 賢 河野 修三 鬼頭 正和 川崎 徹
9	乳幼児期 における 保育教育 と小学校 入門期の 教育	子どもの育ちを大切にする保育・教育は？ ①乳幼児期の子どもや親の生活・保育・教育の悩みや不安、各地域の状況の交流学習 ②子どもたちの全面発達を促す、子ども同士の豊かなかかわりの中でこの時期に体験させたいことやそこで育つ力(自然とのかかわり、人とのつながり、言葉や造形、ものづくり、身体表現など) ③子どもを仲立ちに親、保育士、教師がつながって園、学校、地域で大事に育てたいこと ④子どもを大切に生きた保育園・幼稚園と小学校の連携の在り方	中河原良子 山田 隆幸 安藤 咲子 廣野 梢 吉田 真弓 鎌倉 博
10	中学・高校 大学教育	中高大学生の発達と学力の課題は何か？ ①中学・高校・大学の子どもたちの育ちの現状を交流しよう。子どもたちの育ちをめぐる社会の現状を明らかにしながら、思春期の育ちにおける課題を、学力面・生活面から明らかにしよう。 ②思春期における一人一人のつながりあい、育ちあいを生み出す上で、子どもたちの集団の現状と課題を明らかにしよう。 ③子どもたち自身の自治と参加による学校、学年、学級づくりの手だてを明らかにしよう。 ④教職員の共通理解を進める中で、一人一人の教職員が力を発揮し、協力・援助しあう学校づくりの手だてを明らかにしよう。	浦島 清一 木村 勝保 宮崎 博史 水谷 徹 両角 憲二 五十嵐俊二

分科会		分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人 (太字は代表)
11	障がい児教育	生活と学習の主体者を育てる障がい児教育 ①子どもをどうとらえるか（「問題行動」と子どもの内面理解） ②教育内容をどうつくるか（基礎的・日常的な生活活動／科学や文化の学習／文化集団活動） ③「特別支援教育」の流れの中で、学級・学校・父母集団・地域をどうつくるか	竹沢 清 岸 康裕 内藤 良一 竹田 一博 井関 美季 久保田優美子
12	能力・発達と評価	子どもたちの学びをとらえるまなざし～多様な実践に見る教師のみとり～ ①学習指導要領等の諸制度の改革と発達と評価をめぐる新たな課題を共有する ②子どもの学びに迫り得たいくつかの実践報告をもとに教師の評価観・子どもの能力観を検討する ③生活教育実践史における教師による子どもの学びのとらえやみとりを改めて振り返る	大島 崇 横田 文夫 古沢 常雄 横山 尤子 藤本 和久 吉越 良平
13	教育と子育て	つながり合って育つ～子ども、教師、保護者・学童指導員・地域の支え合い ①いじめ・不登校・荒れ・非行・発達障害など…「子どもたちのしんどさ」に寄り添い、支える取り組み。 ②友人関係・異性関係・親子関係、学校・家庭生活…「子どもたちの生きづらさ」の捉え方と支援のあり方。 ③保育、幼稚園・学校・学童保育・家庭、地域などでの子どもの生活…子どもの生活と居場所づくりの実践。 ④学校・家庭・地域がつながり合って支え合う…「教育的」、「心理的」、「福祉的」など様々な専門性で子どもたちを支え、育てるネットワークの実践。 ⑤今日的な課題として…④の柱と関わるが、震災後の様々な実践を通して、「つながり合って育つ」ことの意味を再考したい。また、近年にみられる教育行政の強硬な姿勢は、「つながる」ことに対してどのような影響をもたらしつつあるのか検証を試みたい。	山岡 雅博 春日井敏之 北村 和美 望月 彰 森 俊郎 石橋 裕子 森川 紘一

☆レポート参加について

*分科会にレポート参加を予定されている方は、日生連研究部に、7月10日までに連絡下さい。

田村 FAX: 042-496-3152 e-mail tamura@jcs.w.ac.jp

*レポートを郵送される方は、「日生連大会資料」と明記され、下記までお送り下さい。

922-0412 石川県加賀市片山津温泉ウ41 加賀観光ホテル御中

☆大会への問い合わせ

*研究集会企画 日生連事務局長 和田 仁 042-736-0036 (和光鶴川小)

*大会参加・その他 現地事務局長 加藤 博之 090-4680-8216

*宿泊 吉野 裕之 090-1396-3014 木村 勝保 (0761) 74 - 7639 (自宅)

【会場案内】

片山津温泉 加賀観光ホテル

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉ウ41

TEL (0761) 74-1101 (代) FAX (0761) 74-1105

URL <http://www.kagakannkoh-hotel.co.jp/>

○分科会・講演・宿泊・レセプション等大会日程の全てをこの会場で行います。

○駐車場300台 (無料)

●飛行機で・・・小松空港より車で約20分

●JRで・・・加賀温泉駅より車で約10分

(1日目と2日目については、駅より開会に合わせてホテルのバスが出ます。ホテルまで予約下さい。)

●車で・・・北陸自動車道片山津ICより車で約7分



参加申込み要項

<費用>

- ①参加費 教職員・・・・・・・・・・6,000円
一般（父母・学童指導員等） 3,000円
大学生・・・・・・・・・・2,000円

*記念講演料、大会冊子、「生活教育」見本誌
ご案内資料、運営諸経費の料金です。

日本生活教育連盟 2011 年度登録会員は 500 円
引きです。

*1 日だけの参加の方は教職員 3,000 円、一般は
1,500 円、学生及び講演のみは 1,000 円です。

*当日参加受付は可能ですが、会場準備の都合上
事前申込みにご協力下さい。

- ②昼食弁当代 1食700円（近くに飲食する所が
ないので、事前にお求め下さい。）

- ③レセプション代 大人・中学生以上 2,000円
小学生・幼児 1,000円

*レセプションは夕食を兼ねた交流会で、飲み食
べ放題です。ぜひご参加下さい。上記料金は、
宿泊者の追加料金になります。大学生は 3,000
円、宿泊者以外の方は、5,000 円（大人・中
生以上）と 2,000 円（小学生・幼児）になります。

- ④子ども学校・保育室料 実費（申込み書参照）

*事前の申込みを原則とします。（7月10日まで）

*「子ども学校」は小学生のみ、保育室は3歳以
上が原則ですが、それ以外の方は問い合わせを
お願いします。

*費用の中には、おやつ代・活動費が含まれてい
ます。

*活動内容によっては、入館料等の実費を追加徴
収させていただきます。

⑤宿泊費

石川県加賀市片山津温泉 加賀観光ホテル

*大人（中学生以上）12,000 円（1泊2食税込み）
1 日目は、宴会料理。

2 日目はレセプション参加の方はこの料金＋
2,000 円で飲み食べ放題のパーティ料理の夕食
になります。（参加しない方は宴会料理です。）

子ども（小学生以上）上記の 70 パーセント
幼児（2 歳以上） 上記の 50 パーセント
幼児（2 歳未満） 2,100 円（寝具・料理なし）

大学生限定（特別料金 5,000 円税込食事なし）

*白山を眺望し、露天風呂を含む 22 のお風呂が
有名な温泉旅館です。夏休みの週末としては格
安になっています。家族で参加の方は 3 名以上
で 1 部屋を確保します。

*部屋は 4 名 1 部屋を原則での相部屋になりま
す。実行委員会にご一任下さい。同室ご希望の
方がいらっしゃる場合や 1 名で 1 部屋ご希望の
方（＋10,500 円必要）は必ず申込み用紙の「備
考」欄にその旨をお書き下さい。

宿泊申込み締切：7月10日（火）まで

<キャンセル>

*キャンセルにつきましては、一定のキャンセル
料をいただくこととなります。キャンセルが生
じた場合は、すぐに「吉野」までご連絡下さい。

*キャンセル料は、以下の通りです。

7 日目～2 日目（20%）前日（40%）当日（100%）

*参加費につきましてはお返しできません。後日
大会資料をお送りします。

参加申込み手続き

経費の節減と効率的な事務処理を進めるため、次の 3 つの中の 1 つを使って申込みをお願いします。

- ①メールで申込み：日本生活教育連盟及び日本生活教育連盟石川サークルのホームページに全国集会の
案内及び申込み書（エクセル）があります。必要事項を記入し、メールに添付して
下記まで送って下さい。料金は下記「郵便口座」に振り込んで下さい。

- ②FAXで申込み：申込み書に必要事項を記入し、下記住所に FAX して下さい。料金は下記「郵便口
座」に振り込んで下さい。

- ③現金書留で申込み：申込み書に必要事項を記入し、現金書留封筒に料金と共に同封し、下記住所に送っ
て下さい。

*受け取りについては、①についてはメールで、②と③については確認しだいながきをお送りします。

<申し込み先及び振り込み先>

①【送付先メールアドレス】hirooy@gol.com 吉野 裕之：宿泊担当 TEL (090 - 1396 - 3014)

②③【送付先】922 - 0423 加賀市作見町ラ 125 - 2 木村勝保 FAX・TEL (0761) 74 - 7639（自宅）

【振込先】 ゆうちょ銀行 口座番号 記号 13170 番号 5134201 日生連加賀サークル

※他の金融機関から振込みの場合（店名）三一八（店番）318（普）口座番号 0513420